

日本のお客様とワシントン州を結ぶ日本語版情報誌

発行：米国ワシントン州政府通商経済開発局

シアトル&ポートランドストリート・オブ・ドリームスに見る住宅のトレンド

シアトル・ストリート・オブ・ドリームズ
受賞住宅
専門家グループによる選考



ザ・アストリア
最優秀賞
ベスト・建築デザイン賞
ベスト・主寝室賞



ナバ・ノースウエスト
ベスト・ランドスケープ賞



ザ・ストーンクレスト
ベスト・インテリア・デザイン & ファーニシング賞

ストリート・オブ・ドリームズ以下SODとは

SODは米国各地で開催されるイベントで、各建設業者が最新の技術と建材を使用して「夢の家」を建築します。すべての住宅が完成した時点で約1ヶ月一般公開され、自由に見学することができます。SODの期間が終了すれば家具などが運び出され、市場で販売されます。シアトルそしてポートランドSODは高級注文住宅で使用される最高のインテリア・デザインや施工を見る貴重な機会です。

シアトルSOD

2003年のシアトルSODはシアトルから東へ約24kmに位置するイサクア近郊の住宅開発地「ハイランズ・アット・タイガーマウンテン」で開催されました。今年建てられたのは、床面積306~587㎡、販売価格は約159.5~266百万円（\$1=120円）の木造戸建住宅5棟でした。各区画は4,045~12,140㎡と日本では想像のつかないスケールの大きさです。完成時にはタイガーマウンテンの麓の42エーカーの土地に14棟が建てられる予定です。

今年のシアトルSODで圧倒的な支持を得たのが、19世紀の建築設計コンセプトと21世紀のライフスタイルを融合した結果生まれた、快適かつ機

(3ページへつづく)

エバーグリーン 夏季住宅視察ツアーレポート

今年で4年目を迎えたエバーグリーン建築資材貿易振興会(EBPA)主催の視察ツアーが8月4日はワシントン州シアトルで、8月5日はオレゴン州ポートランドで開催され、日本からビルダーや建築家の方々が参加されました。

今回の夏季視察ツアーは戸建住宅から集合住宅まで、米国におけるさまざまなライフスタイルに見るデザインやインテリアがテーマでした。ツアーの内容は左記SOD、シアトルの中心街にある大規模な集合住宅プロジェクト、そしてアメリカ国内でも賞を取った事で有名なオレゴン州ヒルスボローのオレンコ駅のコンドミニアムプロジェクトの見学でした。また、両日の終わりに開催された交流会・レセプションでは現地の建築資材メーカーや輸出業者などがサンプルを展示し、ネットワーキングの場が持たれました。

SODは日本の建築コストや地価を考えるとスケールが大きすぎる面もありますが、参加者の皆様は品質の高い、多種の建築部材、設備、インテリアを実際に見て、アレンジしだいで日本の高級住宅にも導入できる点を認識されました。また、ツアーの目玉としてポートランドSODで評価が高かった「ネイチャーズ・ドア」のビルダー兼共同デザイナーでもあるランディ・セバスタアン氏(ルネッサンス・ホームズ社、社長)がガイドとして説明をしました。今回始め



SODで見られた凝ったデザインのキッチン

(11ページへつづく)

作品集アルバム

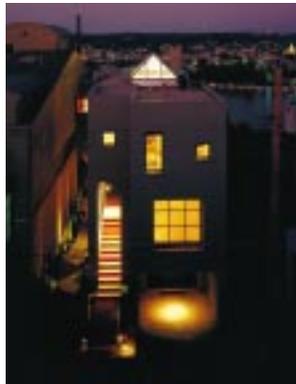
米国の建築家に作品の投稿を呼びかけ、今後読者の皆様にご紹介していきます。施主の要望に応える特徴のあるデザインと米国の建材の数々をご覧になっていただけます。

作品1 プロジェクト：都会の狭い家

場所：オハイオ州、シンシナティ 設計事務所：

ジョン・センハウザー・アーキテツツ 床面積：252㎡ 施工年：1992

オハイオ川渓谷が見える都会の狭い家は急な勾配の現場に建設された。区画の大きさは横8メートル、縦31メートル。景観を最大に



取り入れるため団欒の場所は住宅の後方に配置し、ガラス壁やたくさんのテラスなどが設けた。寝室は道路側の住宅前方に配置しながらもプライバシーが守られている。独立したむき出しのコラムや梁は家のオープンスペースを引き立たせる。スチール製の出窓、スタッコ仕上げの外装やスレート葺屋根板などの工業製品と2x4工法を組み合わせ。

写真：Robert Ames Cook



目次

SOD・EBPA夏季住宅視察ツアーレポート・作品集アルバム	1	プロフェッショナル・ヴュー	10
EBPA冬季住宅視察ツアー	2	プレハブ住宅(工業化)への挑戦	12
改正建築基準法に基づくシックハウス対策の施行を迎えて	5	米国の健康住宅建設の取り組み	13
レッドモンド・リッジのトリロジー	7	住宅建材セミナー	14
MEET EBPA (株)サンタ通商	9	書籍一覧・活動スケジュール・資料請求	15



連絡先：米国ワシントン州政府通商経済開発局日本事務所
〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-4-8-301 TEL：03-5776-7766 FAX：03-3459-0897
e-mail：jwnko@gol.com http://www.oted.wa.gov/trade/jpn_housing/
担当：御子柴(みこしば)淳子 Contact：Junko Mikoshiba

エバグリーン 建築資材貿易振興会

日本事務所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-4-8-301
TEL：03-3459-0898 FAX：03-3459-0897
http://www.ep.org/ e-mail：ebpa@mue.biglobe.ne.jp

2004年エバグリーン冬季住宅視察ツアー 米国のリモデルと高齢者向け住宅を見る



エバグリーン冬季住宅視察ツアー2004は、建築業界関係者を対象に、米国の建築資材や木造建造物を学ぶ機会を提供しています。5年目を迎えた今回のプログラムはNAHB開催前にワシントン州に滞在していただき、リモデルと高齢者向け住宅のセミナーと視察を通して、実際の北米スタイル住宅造りや日本市場に向けた住宅建材をご覧になっていただく絶好の機会です。

プログラムと特色

リモデル

2004年1月15日(木曜日)

家族のライフスタイルに対応するために居住空間を変更し、個人の趣味にあわせてインテリアに手を加えるなど、人々の家に対する要望は快適さに合わせ多種多様になってきました。住宅の寿命がのびるにつれ、快適な住空間はリモデルで対応できます。日本でも市場は伸びていますが、今後も益々ニーズは高まっていく事でしょう。お客様に米国のリモデル例を提案してはいかがでしょうか。



高齢者向け住宅

2004年1月16日(金曜日)

ワシントン州は全米の中でもシニアハウスに対する意識が高い州として注目を集めています。そんなワシントン州で高齢者向けの施設的设计・施工を専門とする建築家やビルダーにアメリカにおけるシニア・ハウジング市場の動向についてお話を伺います。

老人ホームやアクティブ・シニア(健康で活動的な高齢者)のコミュニティーまた介護施設を訪問し、高齢者のそれぞれのライフスタイルや施設、バリアフリーなデザイン、そして今日のシニアのニーズに対応したアメニティや設備をご紹介します。



日 時：2004年1月15日(木)16日(金)

場 所：ワシントン州シアトル 現地ツアー参加料：

2日間 EBPA会員 ¥30,000
— 一般 ¥33,000

* 提携旅行会社がパッケージツアーをご用意しています。お問合せ下さい。
* ツアー日前後の企業視察・研修・観光等(ワシントン州内に限る)を含むオリジナルツアーの手配致します。

日本人にあったプログラム

- * 日本人を対象としたアメリカの住宅事情を現地で学ぶ
- * 米国の住宅に欠かせないデザインや建築のテクニックを専門家から聞く
- * アメリカでは建材がどう使われているのかが実際にプロジェクトを見る
- * アメリカと日本、両国の業界のネットワーク作りができる
- * 新製品、市場情報、新しいデザインのアイデアなどを知る事ができる

2003年エバグリーン冬季住宅セミナー内容

日付	時間	プログラム	内容
1/15 (木)	午前	セミナー	リモデルについて
	午前・午後	視察	リモデル住宅の視察
	午後	シアトル	ミニ展示会 & レセプション
1/16 (金)	午前	セミナー	高齢者向け住宅について
	午後	視察	高齢者向け住宅の視察

参加申込キャンセル：12月29日まで 100%返金
1月8日まで 50%返金
1月8日以降 返金なし

最低催行人数：8名

料金に含まれるもの(2日間受講)

日本語資料
2日間の通訳
現場視察へのバス交通費
ミニ展示会参加費と商品カタログ
1/15・1/16の昼食代

料金に含まれないもの

航空代金
ホテルでの滞在費
空港・ホテル間の交通費
NAHBに関する資料
1/15・1/16の昼食以外の食事

NAHB 2004

開催期間：2004年1月19日(月曜日) - 1月22日(木曜日)
開催地：ネバダ州、ラスベガス・コンベンション・センター
対象：ビルダー、建築家、インテリアデザイナー、部材輸入業者、卸売り業者

NAHBは住宅建築製品に関するアメリカ最大級の展示会です。また、tecHOMEExpo(建設技術に関する展示会)やICCON(軽商業施設建設に関する展示会)なども同時開催しており、多数の住宅建材や最新の技術を一度に見学する事ができます。世界中から1400もの出展者が参加しており、7万人もの来場者が訪れます。

今後NAHBの開催地が変わります。
2005年と2006年はフロリダ州・オーランド、2007年と2008年はジョージア州・アトランタ、2009年にラスベガスに戻ってきます。しばらく、ラスベガスで開催されませんので、是非この機会をお見逃しなく。



お問い合わせ：

エバグリーン建築資材貿易振興会(EBPA)日本事務所
105-0001 東京都港区虎ノ門5-4-8-301 Tel: 03-3459-0898
Email: ebpa@mue.biglobe.ne.jp URL: http://www.ep.org/

後援： WASHINGTON STATE Office of Trade & Economic Development JETRO SEC

お申込・お問い合わせ

フリガナ
会社名/担当者名
フリガナ
住所
Tel/Fax

FAX: 03-3459-0897 エバグリーン迄

エバグリーン建築資材貿易振興会
日本事務所

(1ページよりつづく)

能的なフロアプランの「ザ・アストリア」です。地域のインテリア・デザイナー、ビルダーや建築家などの業界団体の代表者から構成された専門家グループ選考委員会から、この床面積587㎡、234.5百万円の住宅は最優秀賞、建築デザイン、主寝室の部門で受賞しました。

「ザ・アストリア」の特徴は、今はたいへん珍しくなりましたが、19世紀頃の「きらびやかな時代」には人気が高かった建築スタイルを意識しています。デザイン要素として、構造用コラムや屋根のあるポーチが開放感を創り、魅力的な入り口となっています。独特な家の前の円形胸壁、八角形の部屋、マスターバス、先のとがった屋根とドーマーの組み合わせは現代の中間市場に見られるデザインでないことは一目瞭然です。

この住宅の魅力のひとつはオープンなフロアプランにあります。この家に入るとまず玄関広間から、円形の部屋を通して、後ろまで(約24m)の眺めが遮るものがなく見えます。1階全体の吹き抜けのアーチ状の天井がより引き立たせています。また、アルダーのキャビネットやむき出しの梁が住宅の各所で見られ、さまざまな木仕上げ材の使い方が投票結果で評価されました。

「ザ・アストリア」は4つのベッドルーム、4.5バスルーム、メディアルームと書斎、そして驚くことに暖炉が11個もあります。敷地の広さは約1200坪で、4台収容可能なガレージ、円を描く車道、美しく作られた裏庭ではスポーツが楽しめる中庭や滝までもがあります。

ポートランド・SOD

ポートランド・ストリート・オブ・ドリームズ
受賞住宅
一般部門による選考



ネイチャーズ・ドア
ベスト・ランドスケープ賞
最優秀賞



グレイストーン・マナー
ベスト・インテリアデザイン&
ファーニッシング



クーバー・サミット
ベスト・キッチン賞

ポートランドSODの住宅6棟の面積は427~690㎡で、最も低価格の住宅は約120百万~180百万円(\$1=120円)でした。ポートランドの住宅の広さや品質はシアトルに匹敵するものの、2つの都市の地価の違いで割安でした。

開発業者は地方自治体及び州政府と協力し、環境・建設上の許可を得ながら、区画を現在の完成状況に持っていくのに5年の月日を要しました。現場の地形が急な傾斜も多く湿地帯もあったため、環境を破壊しない措置を順守しなければならないという特別な許可が必要でした。さらにインフラ整備と土地開発が完了するのに3年も要しました。昨年1年をかけて6棟が完成しました。

ルネッサンス・ホームズが施工した「ネイチャーズ・ドア」は専門家グループによる選考で高く評価され「ベスト・ランドスケープ賞」以外のすべての賞を受賞しました。この690㎡で3億8百万円の住宅は今回出品の中では最大最高のものでした。この住宅はビルダーで共同デザイナーでもあるランディ・セバスチャン氏が毎年訪れる米国北西部やカナダのスキー旅行からイメージし、山の中のスキーロッジにいるような雰囲気がフロアプランと部材の選定に反映されています。

玄関ホールはリビング、ダイニングそしてメディア部分が合わさったグレートルームへと広がり、家族の団欒や娯楽部屋として住宅の中心となります。一段低いところにある床、7メートルの吹き抜けの天井や部屋の突き当たりの開放的な窓から見る木々が、ロッジに滞在している気分を高めてくれます。住環境全体に自然を運び込むように木質の床、むき出しの梁、タイルや石材が使用されています。1階部分の荒削りのクルミ材のフローリングの価格は1フット(30cm)当たり\$16で、施工は\$20かかります。また、階段に使用された手作りの錬鉄製手摺や踏み段や2階部分の手摺など、この家の特注品のほんの一例です。

このような価格帯には見られない設備もありました。エクササイズ・ルームにはテレビやエンターテイメントシステムはもちろんのこと、ジェットバスのプールには65インチのテレビ・スクリーンやサラウンド・サウンドのオーディオ・システムと水中スピーカー付き「水中シアター」がありました。

ビルダーは樹木が茂った急な坂の端面にこの住宅を建設する更なる試練がありました。この離れ技をやり遂げるために3層の土工が建設され、よう壁のようにコンクリート補強されました。住宅の一部は坂の斜面にあり、残りは坂の斜面から外に伸びた鋼鉄とコンクリート・プレートの上面で鋼鉄の桁によって支えられています。

高級住宅の動向

SODの住宅の建築デザインやレイアウトを見ると「コクーニング(カイクが藪の中にいる様子から家に閉じこもること)」の傾向が見られました。例えばジム、ホームシアターやお客様をもてなす場所など、従来は家以外の場所・設備であったものを自宅に取り入れた生活環境作りがこれを証明しています。自宅にお客様を招待して、楽しんでいただくためのアウトドアにある備え付けのグリルや石の暖炉がある広いアウトドア・パティオなどが一例です。ほとんどの家のパティオ・スペースはリビングルームに隣接することで、開放感を出し、また、リビングとアウトドアをつなぐ効果があります。リビング、家族用のダイニングやキッチンを合わせたグレートルームと呼ばれるオープン・スペースも象徴的でした。また、多くのビルダーは台所や廊下にあるキャビネットの下や寝室の間に小さなコンピュータスクリーンを付け、家族がメールを見たり、支払いをしったりするような事務ができるような仕事場を作っていました。

この他、はっきりした新傾向としてはインテリアで現代と伝統的なスタイルを両方取り入れていたことでした。統合型電子装置によってマルチメディア、複数のカメラの警備システムや室内外の豪華な照明の作動もタッチパッド制御が見られました。多くの家に3メートル以上の高い天井が見られました。また、ホームシアターにはマルチスクリーンのテレビやバーカウンターも人気のアイテムでした。

ほとんどの住宅が「環境的に持続可能(サステナブル)」と認定を受けた木製品を使用し、全ての住宅にはエネルギー効率が高い空調設備、窓やドア、さらに省エネ効果がある照明や家電製品が使用されました。

住宅建材を専門とする信頼できるホールセラー(卸し売り)会社

Western Pacific
West Pac

ウエスタンパシフィックビルディングマテリアルズ



ウエスタンパシフィック、より広いビルディングに移転!

2,900坪の倉庫にて4,000種類以上の建材の在庫と敏速な出荷。

- ・大手建材メーカーから直接購入出来る会社規模と購買力
- ・150名の社員からなる機動力
- ・自社内のドア吊り込みの機械にて、敏速なプレハングドアの出荷
- ・日本だけでなく、アメリカ国内のホームビルダーからも厚い信頼を得ており、毎年、アメリカ高級住宅展示会「ポートランド・ストリート オブ ドリーム」にも、資材を供給しております。
- ・日本との取引歴も長く、お客様との信用関係を重視しております。
- ・日本語の話せる社員が常勤

Western Pacific Building Materials, Inc.

2805 N.W. 31st Avenue, Portland, Oregon 97210 USA
電話番号: アメリカ 503-224-9142・FAX 番号: アメリカ 503-241-3858
Eメール: westpac@yahoo.co.jp 日本語/英語とも可

弊社の商品カタログを御希望の方は、会社名、住所、電話番号、ファックス番号を弊社にファックス又は、Eメールにてお送り下さい。

生涯保証

プレミア・パネル

**建築基準法
第37条認定**


鉄骨構造への使用



一般住宅（床・壁・屋根）

2003年11月11日（火）
～11月14日（金）開催
のジャパンホームショー
出展！U.S.パビリオン内
小間番号2204-2でお待
ちしております。

“地球にやさしい”しっかりと環境のことを考えて作られた商品です。

- 在来・2×4・ログ・商業建物などの特殊な屋根への使用
- プレカット壁及び床パネルシステム

プレミア・パネルは地震に対して2×4より1.6倍強く、断熱効果は60%アップします。

建方請負

SIPパネル専門の熟練された建方を日本全国の現場へ手配します。



パネル施工様子

構造用断熱パネルはきわめて
価値の高い建材です。

低ホルムアルデヒドだから安心!!

FC0★★★★★JAS

- ・台風、吹雪、地震から守ります。
- ・害虫、騒音や暑、寒気など寄せ付けません。



EPS及びSIPの両製品を製造する世界最大メーカー、ポーレイトを使ったSIP及びEPSのシロアリ防虫処理は、弊社の社員によって開発されました。

プレミアパネルの断熱材に使われているEPSは、身体や環境のことを考えて作られています。

他の断熱材と比べて下さい。

EPS発泡ポリスチレン

安全
健康に良い
有毒ガス無

グラスウール

結露・熱に弱い
肺ガンの危険

ウレタン系

ホルムアルデヒド
シアンガスの発生
断熱効果の低下



プレミア・ビルディング・システムズ

Premier Building Systems

米国 TEL: 253-549-4901 FAX: 253-549-4902
4600 70th Ave. East, Fife, Washington 98424 · USA
E-Mail: todddrumm@aol.com
国際輸出責任者: ドラム・タッド

日本 TEL: 03-5675-5602 FAX: 03-5675-5610
〒134-0083 東京都江戸川区中葛西 7-4-9-3F
Eメール: pbsjapan@ballade.plala.or.jp
担当者: 上里光治

プレミアは、誠実かつ能率的なサプライヤーとして、レイクカントリー・ログホームズ
およびパック・リム ビルディングサプライを強くお勧めいたします。



レイクカントリー・ログホームズ

高品質のカナダ産ログハウスキットを
工場から直接購入しませんか！

経験

ビッグフットの信頼できるOEMメーカーとして12年間、ログハウスを提供システムコンテナ輸送、日本にコンテナを3000以上発送カナダ、米国、日本で20年以上にわたる経験

製品

マシンカットログハウスキット
ハンドクラフト手造りログハウスキット
窓、ドア、建材など一式完備、f★★★★ホルムアルデヒド無し
樹種: エンゲルマンズブルース、パイン、ダグラスファー、ウエスタンレッドシーダー

生産能力

プレミアムグレードのカナダ産丸太（シロアリ処理済み）の大量在庫
超現代的なハンドクラフト手造りログハウス組立工場
最先端のマシンカットログハウス製造オートメーション工場

信頼性

カナダで最も生産的かつ効率的なログハウスメーカーの1社
日本向けに15年以上、何千軒も出荷してきた豊かな実績
ログハウスは、レイクカントリーにおまかせください。
一貫した高品質のログハウスを迅速にお届けいたします。

Log-ON
www.lakecountrylog.com

Fax: 250/836-3874
masa@lakecountrylog.com
sam@lakecountrylog.com

パック・リム発の「エスパー便」は、
少量ロットでもマーヴィン、ブルース、
コーラー、ファイボン製品を簡単に
直輸入できる新しい物流システムです。

エスパー便で「あのメーカー」の建築部材を簡単に直輸入！

新しいサービス「エスパー便」は、パック・リムのコンテナ・ヤードから、隔週ペースで船積みされる混載コンテナ定期便による直輸入物流サービスです。米国内での資材調達・検品・梱包・書類作成から、日本サイドでの通関業務までの一貫したサービス内容ですので、海外の建築資材を安心して、お手軽に直輸入して頂けます。日本でも人気の「マーヴィン・ウィンドウ」「ブルース・フローリング」「ファイボン」「コーラー」「フィッツ」「プレムドール」「サーマスルー」等の製品

をフルラインアップからご利用いただけます。また、コンテナ・チャーター便とは異なり、サンプル商品や少量ロットの輸入に適していますので、店舗内装やリフォーム工事等にも直輸入建材をお気軽にご利用いただけます。

パック・リム
ビルディング サプライ 株式会社
秋田二郎 営業主任
3901 Raymond Ave. S.W.
Renton, WA 98055 USA
Tel.: 425-251-3700 Fax: 425-251-0334
e-mail: jakita@pacrimbuilding.com

無料 SHIPPING
(初回オーダーのみ)に限り、
弊社までお尋ねください。

*WE MAKE FRIENDS WITH EVERY SALE!
**PAC-RIM
BUILDING
SUPPLY, INC.**

改正建築基準法に基づくシックハウス対策の施行を迎えて

改正建築基準法は、2002年7月に公布、2003年7月1日に施行された。同法に基づくシックハウス対策に係る規制の解釈をめぐって、施行月前後には大きな混乱を招いたが、9月に入り大臣認定取得に成功した米国建材メーカーも出てきた。まだ取得に至っていない米国建材メーカーは、それぞれ取得に向けた手続きを続けており、主要な建材メーカーのほとんどが年内もしくは遅くとも来春までには取得できる見通しが立ってきた。しかし、施行前から懸念されてきたように、今回の改正法の施行にあたり海外メーカー側の対応の遅れやそれに伴う輸入建材の締め出しなどが現実のものとなり、今後の法施行のあり方に問題を投げかける形となった。

第一の問題点として、国交省の海外企業に対する関係告示及びマニュアルの不備が挙げられる。3月の関係告示公表以来、米国建材メーカーにとっては各米国建材関連団体の出す経過報告書が唯一信頼できる英文資料であり、5月下旬ごろまで国交省から正式な英文の法解説資料が一切なかった。また2月の段階で経済産業省担当者は、日本国内業者の意見調整で多忙を極めており、海外製品に関しての対策やマニュアル整備などは何らなされていない旨を明らかにしている。そして5月を皮切りに改正建築基準法に関するセミナーが日本各地で開かれたが、セミナーに参加した日本人にとっても今回の改正建築基準法は大変複雑で、全容を理解するのは容易ではなく、またその理解にはセミナー参加者の中でも様々な解釈があり、意見の食い違いを見せ日本の取引先に情報源を頼った海外メーカーを混乱させた。

ワシントン州政府とEBPAでは、独自にワシントン州シアトル市とタコマ市において日本の改正建築基準法のセミナーを開催し、改正法全容が英語で説明されるとあって多くの米国企業アジアマーケットの担当者らが詰め掛けた。

海外企業の中でも日本法人を通じて情報収集に努め、比較的早い段階から大臣認定取得に向けて動いたのにも関わらず、7月を過ぎても認定を取れなかった例がある。当初の国交省の指導では、JAS適合製品が大臣認定を受けたい場合、海外でも1申請に300万円から500万円かかるとも言われるJASの認定工場申請をするか、20フィートコンテナ1本分で平均10万円以上かかると言われる第一種格付を受けるかのどちらかしか選択肢がなく、5月初旬に「第3次製品といわれるユニット製品（ドア、システムキッチン等）については、JAS規格適合製品であるかを問わず大臣認定を受けることが出来る」と発表されるまで、立ち往生してしまった。しかしもうその発表時点では既に、各評価機関の試験申込は予約が一杯で、すぐに申し込んでも認定は7月には間に合わないという時期であった。

第二に挙げられる問題点として、貿易摩擦が挙げられる。一般的に規制緩和が叫ばれる中でのこの改正建築基準法の施行は、海外の建材業界では「実質的な日本政府によるセーフガード（緊急輸入制限）の発動」と受け止められている。少子化現象で新築着工数が年々減り続ける中でも、数十年前から始まった2×4工法建築の普及に伴い、バラエティーやデザインに優れた輸入建材や、また最近では中国をはじめとするアジア諸国で製造される安価な建築資材の輸入のシェアは着実に増加の一途を辿っており、日本国内の建材メーカーは国産材のシェア回復に四苦八苦している現状があるからだ。一部には、今回の改正法はアジア方面から輸入される品質に問題のある建材を締め出す為とも言われているが、アジア各国の建材メーカーには日本の資本が入って日本向けの輸出を手掛けているところが少なくなく、比較的日本の改正法などの変化に対応しやすい。それに比べ北米の建材メーカーの多くはアメリカ国内の販売シェアが大部分を占め、日本向け輸出シェアが大きければ大きいほど中小企業が多く、大企業のそれは5%~10%程度に留まっている。中小企業にとっては、単純に大臣認定取得に係る費用と時間を捻出する負担が大きく、大企業にとってはそれだけの費用と時間を費やすだけのマーケットが日本にあるのか、という検討に入るのは当然といえる。

今回の改正建築基準法の是正をめぐっては、各日米建材業界団体や海外政府もそれぞれ法改正を求める動きを見せた。日本においては、IHIO（輸入住宅産業協議会）が輸入建材を取り扱う会員企業84社とEBPA（エバグリーン建築資材貿易振興会：本部ワシントン州タコマ市）の日本会員企業を含む39社の連名で「輸入建材・部材の大臣認定に関する要望書」を国交省に宛てて提出し、北米建材の深刻な状況を踏まえた要望の背景を説明し、法施行時期の半年間延期や救済措置を求めた。この要望書については、後日国交省から要望の背景は事実と異なり、全ての要望には応じられないとの回答があり、業界関係者を大いに失望させた。

これら業界関係者やまた評価機関職員からも一番多く寄せられた意見が、海外、特に米国からのプレッシャーであった。米国政府の外郭団体であるAF&PA（全米林産物製紙協会：本部ワシントンD.C.）やアメリカ大使館が窓口となって国交省との交渉に尽力し、ワシントン州政府とEBPAは連名でそれぞれ日本のアメリカ大使館に宛てて、法施行時期の延期や海外評価機関の指定などを盛り込んだ要望書を提出した。また5月中旬には、アメリカ大使館内において、米国企業を対象に国交省の担当者を招いたセミナーとディスカッションが開催され、米国企業の生の声を国交省に伝える場が設けられた。またカナダやEU諸国の大使館においても国交省による説明会が開催され、それぞれ国交省に法改正を求める意見書や要望書を送った。

そして第三の問題点としては、海外評価機関と企業秘密の保持にある。今回の改正法の中で、2003年9月1日現在国交省より指定された大臣認定に必要な性能評価業務を行う性能評価機関の中に、海外の評価機関は一機関も入っていない。また日本国内の評価機関で申請手続きを全て英語で出来る能力のある機関はない（「化学物質などの用語に関しては英語で対応できるが、事前相談やその他のやりとりについて英語で対応できるスタッフはいない」（財団法人ベタリーピング担当者））。海外の建材メーカーにとっては、まず言葉の問題と申請書類やサンプル送付の煩雑さやその費用の問題から、海外からの直接申請を断念せざるを得ない。主要な建材メーカーは、日本の代理店や取引先を窓口として申請を行うのが一番安易と思われるが、大臣認定申請には材料構成等の説明が必要な為、取引先に全ての企業秘密を明かさなければならない。これを嫌って日本での申請を断念しているメーカーもある。2003年9月1日現在、PSI（プロフェッショナル・サービス・インダストリーズ：本社米国シカゴ）が、最初の海外評価機関の指定を受けるべく申請を進めており、多くの北米建材メーカーは同社の認定を待って大臣認定取得に動き出すものとみられる。PSIの日本窓口となっている牧野氏は、「アメリカや海外諸国が提出した要望書などが功を奏し、国交省より早く申請書類の提出を終え指定を受けるよう指導されている」と語っており、各海外政府や業界団体の交渉や要望書提出などの努力がここに来て反映されてきたことが窺える。今後PSI以外にも海外評価機関が指定されることになりそうだ。

国交省等がまとめたシックハウス対策マニュアルの前章には、「新しい法律により新たな規制が始まる時、大なり小なり抵抗が発生するのは避けられないことである。特にその規制が日常生活のあり方に関わる場合には、反発は深刻になりがちである。その意味で、今回の建築基準法の改正に伴う各種規制の施行には慎重な配慮が必要で、法律改正の趣旨に関して十分な事前説明を行い、社会の理解を得ることが重要である。」とある。今回の改正法施行にあたっては、そのシックハウス対策の趣旨そのものは広く理解されているが、「北米建材は特に、今回のシックハウス対策基準を既にクリアしているにもかかわらず、準備期間が足りず認定が間に合わないために、日本の市場から締め出しを受けている。もし2~3年かけて段階的に規制をしてもらっていたら、十分対応できたのに」との声が多く、国交省の法改正公布から施行までの運び方に対しては、日本の建築資材業者はもとより、海外の建築資材メーカーや輸出業者の反発や混乱は深刻で、未だもって業界全体を含む社会の理解が得られたとは言い難い。

階段材



フィッツという名称は、木工業界において50年以上にわたり、高品質の象徴とされてきました。フィッツ・インダストリーズ社は1947年、フランク・フィッツ・ジュニアによって創立されて以来、精密な木工部品を製造してまいりました。フィッツの成功は、お客様第一の精神と弊社の家族を重んじる伝統的な価値観の賜物です。フィッツ・インダストリーズは現在も、ファミリー企業として、高品質の階段材を製造しております。

ジャパンホームショー2003の弊社の展示場に
ぜひお立ち寄りください(小間番号2204-2)。

フィッツ・インダストリーズは、
F★★★★の評価を受け、大臣認定取得済。

高品質の広葉樹材、針葉樹材、
アイロン製の階段材製造業者

Mr. Dexter Hutton
Fitts Industries, Inc., 5640 South Durango, Tacoma, WA 98409
Phone: 253-474-2923 • Fax: 253-474-0408
dhutton@fitts.com



Fitts
Manufacturers of Quality Stair Parts

アクティブ・シニア向けの
住宅開発地

レッドモンド・リッジのトリロジー

Trilogy at Redmond Ridge

シアトルのダウンタウンから東へ30分程車を走らせると、活動的な高齢者向けに全体計画が考えられたレッドモンド・リッジのトリロジーがあります。8月4日、エバグリーン建築資材貿易振興会（EBPA）の夏季ゲートウェイ参加者は西海岸で最も注目されているアクティブ・シニアの開発地を見学しました。



トリロジーは55歳以上の世帯を対象にしています。ここに住む条件として世帯に55歳以上の人が最低ひとりおり、18歳未満の未成年がいないことが規則で定められています。アクティブなシニアをターゲットとしているため、介護施設はなく、ライフスタイルも活動的であることに重点を置いています。多くの住居者は現役で仕事をしています。



18ホールのチャンピオンシップ・ゴルフコースと森の中の20kmのハイキングコースはアメニティのひとつ。



「メープル」は広さ220㎡で販売価格49.2百万円（\$410,000）。伝統的なスタイルながら多数のフロアプランから選択可能。

購入前には、17種類のフロアプランからなる4つのシリーズから選択でき、さらにトリロジーの組織内のデザイン・スタジオに依頼をすればニーズに合わせて特注することもできます。敷地内に13戸のモデルハウスがあり、自由に見学することができます。

デザインの特徴として下記があげられます。

- 高い天井とオープンなフロアプラン
- グルメキッチンと隣接したカジュアルなリビングルームは家族団楽やお客を招いてのパーティにも活躍する生活の中心部分
- ゴルフカートをガレージに駐車することも可能
- エクステリアは50年保証のハーディブランクのサイディングと石材の組み合わせ
- 中庭
- 広い主寝室
- ゲストルーム
- 玄関とキッチンはハードウッドの床材、TJIを使用した静音床システム
- ミルガード社の樹脂製窓、Low-Eガラスの二重窓
- 断熱材 - 外壁R21、天井R38、床R30



家族団楽やおもてなしに最適なオープンなフロアプラン。すべての住宅でキャニオン・クリーク社のキャビネットを使用。



トリロジーで使用されるキッチンとバスルームのキャビネットはすべてEBPA会員のキャニオン・クリーク・キャビネッツ社が供給する契約を結ん

でいます。施主は多種のスタイル・仕上げのキャビネットから選択し、この大きなプロジェクトの施工と品質管理についてはキャニオン・クリーク・キャビネッツ社が現場での監督をしています。



トリロジーの開発は住宅建築業者としては米国で最も大きい民間企業、シェイ・ホームズが行っています。同社で住宅ローンを組むこともできます。現在は住宅所有者組合の運営を行っており、全共有部の責任を負っていますが、ゆくゆくは住民に引き継ぎ、その時点で役員が選出される予定です。住宅所有者組合費として1世帯月額16,000円（\$133）を支払いますが、この中には表庭の造園管理、共有部分の維持管理とキャスケード・クラブ・コミュニティ・センターの会員費が含まれます。

キャスケード・クラブでは室内プール、工芸室、フィットネスセンターなど完備。この会員費は組合費に含まれている。

トリロジーの住民には下記の施設や活動を含む、幅広い特典があります。トリロジーはゲリー・パンクスによるチャンピオンシップコースを囲むように建設されています。住民ならプレー料金や年会費の割引があり、自分のゴルフカートでプレーすることも可能です。

キャスケード・クラブ - 住民のための広さ3050㎡のコミュニティセンターには下記の施設がそろっています。

- インターネット・カフェ
- 室内プールとトレーニングジム
- ダンスホール
- 工芸室
- ワシントン大学の研修センター
- テニスコートと5ヘクタールの公園
- 森林に覆われた20kmハイキングコースのトレイルセンター
- 組織的活動としてゴルフ、自転車、スキー、室内フィットネス・クラス、ハイキング、独身者向けイベント、絵画教室、パーティや生涯学習クラス等



「シーダー」の三方の暖炉が1階部分のメインのリビング・ルームを引き立たせる。面積220㎡で51.6百万円（\$430,000）

詳細についてはホームページをご覧ください。 <http://www.trilogylife.com>

フロアプラン一例



メープル



シーダー



メアリーヒル



「メアリーヒル」は広さ294㎡で63.6百万円（\$530,000）

魅惑の木製ドア



4683



6404



4390

1912年の創業以来、シンプソン社は高品質の木製ドアをデザイン、製造し、世界中お客様に提供して参りました。

日本でも、シンプソン社のドアは、その自然な美しさと性能で高い評価を得ております。

当社の魅力あるれるドアのお問い合わせはファックスにて下記番号へご連絡ください。

Simpson®

M·A·S·T·E·R·M·A·R·K®

HANDCRAFTED DOORS FOR AMERICA'S FINE HOMES

www.simpsondoor.com

1-360-495-3291

~ Meet EBPA ~

株式会社サンタ通商

エバグリーン建築資材貿易振興会（EBPA）の日本会員である株式会社サンタ通商は1980年の設立以来輸入建材の販売をしており、2000年には、実際に建材を体感できるショールームを開設しました。また、施主向けに家造りの計画から完成までを応援する新規事業「レイニア・スクエア」を立ち上げて、今後独自の住宅や工場見学ツアーを企画されています。

どこを見ても完璧！豪華なインテリア。
 ハッピーな毎日は住まいと共にあるのです。

見たい！欲しい！真似したい！自慢したい！そんなインテリアデザインを一挙に激写してきました。（8000枚撮影。カメラマン同行。）今回の訪問先は、シアトルとポートランドのストリートオブドリームズ。贅沢な景観や敷地の大きさに溜息



がでしてしまうのは仕方ない。それにしても、どこを見ても完璧に飾り付けられている豪華なインテリア。とにかく色あわせがシックで本当にきれい。建材・家具・小物との質感の対比や配置、ファブリックの分量やバランスも見事。アメリカのインテリアデザイナー達が意識しているのは、見せる事が前提で見せ方を考えた表現。インテリアをいかに美しく機能的にするかで、家とその家に住む人のステータスとなり、資産価値の高い家となるのでしょう。

知っておきたい、「インテリアトレンド」は何？

今年のインテリアのトレンドは、定番のクラシックスタイルやアーリーアメリカンスタイルというカテゴリーにアジアテイストをプラスしていること。例えば日本の伝統的なデザイン。滝、庭園といったジャパネスクを彼ら流にアレンジしてインテリアに取り入れてしまうというのは新鮮。インテリアに必需品のグリーン（植木鉢）も大きな松の盆栽がなんとバスルームに置かれている。アジアテイストの小物も多く取り入れられている。

庭園は実際それらしいものがいくつかあった。庭に滝や池、石垣、竹垣をつくってしまう。手水鉢や石燈籠や獅子齧しの姿もある。玄関先の植栽には、松、もみじ、アジサイや南天の樹木を、植えている。

アメリカの建築家に聞いたところ、今“TEIEN”が大ブームということだ。そういえば、つい最近、アメリカ人の建築家に、日本の庭園は本当に美しいと絶賛されたことがある。彼は、かなり日本の庭園を勉強している最中のような。実際、アメリカの書店では、“TEIEN”というタイトルの本をいくつか見かけた。日本人が思っている以上に、日本の文化は海外で高く評価されているらしい。日本では、バラやハーブ等のイギリス風ガーデニングが流行っているというのに……。

話は変わるが、シャンデリアが流行っている様子。1階のヴァニティ（洗面）やトイレにシャンデリアという家が意外に多い。しかもシャンデリア以外の間接照明も照度が抑えてあるので、ヴァニティやトイレの中が、非常に暗い。シャンデリアの光で、カウンター、フロア、壁面のタイルがキラキラ輝く。カッコいい！ヴァニティやトイレの水廻りが、リビングと同じ風格と色調。日本人の好むナチュラルなヴァニティやトイレというのは、そのうち見かけなくなってしまうのだろうか……？



ラグジュアリーなキッチン、本格的なプロ仕様。

アメリカでは、リビング・ダイニングルーム、キッチンのインテリアに一番力を入れている。なかでも日本と一番差がでてしまうのが、キッチン。今、アメリカで流行のキッチンは、シェフが使用するような本格的キッチン。キッチンの動線もプロ



のシェフが使用するように考えられている。特に目立ったのは、ガスレンジ。IHヒーターが急速に普及する日本と正反対に、W=1200位のプロ使用のガスレンジを採用している。日本では滅多に見えないタイプ。これはシアトル・ポートランドのストリートオブドリームズに出展していた物件のキッチン全てがそうだった。当然、シンクもステンレスシンクが多い。厚みも1mm位のもの。

プロのシェフが使用するようなキッチンではあるが、キャビネットは、あくまでも木製を使用する。

シェフが使用するような本格的キッチンといっても、決してオールステンレスにはしない。木製キャビネットにステンレスのアクセントを添えることで、リビングルームと調和の取れたインテリアとなる。ドアパネルは以前よりアンティーク仕上げの傾向で、取手もアイアン製やサテッククローム等が流行中。高さのあるウォールキャビネットも、しっかり使用する。それは収納を増やしたいというよりもリビングやダイニングとのバランスも考えられているよう。デザインと実用性が共存する秀逸なキッチンは最高！実際、9年間レストランでシェフをしていた経験があるキッチンデザイナーがデザインしたキッチンは本当に素晴らしい。このキッチンキャビネットのメーカーは、“キャニオンクリーク”。サンタ通商で販売予定。

お手本にしたい建材のデザイン

装飾性は重要な鍵。ただ豪華なだけではなく、シンプルな印象をもったのが、今回のストリートオブドリームズ。建材の素材や色展開に落ち着き感が見られる。特にアイアンのハンドル金物や階段子柱は要注目。定番のスタイルでもあるホワイトペイントの外部ドアとコラムポスト、凝ったモールディングを施した玄関といった空間にもアイアンをアクセントにして、魅力的な玄関となっているのが特徴。撮影中に、幸運にも、このデザインを担当した方に話を伺う事ができた。この魅力的な玄関の空間デザインは、ベテランのインテリアデザイナー、Ms. Evelyn Green。彼女は、特にモールディングに凝ったのだそう。いくつものモールディングを組み合わせでデザインをしたのだと熱く語ってくれた。彼女は、この家を9人のインテリアデザイナーを雇って仕事をさせた人。その内の一人が、前述の9年間レストランでシェフをしていた経験があるキッチンデザイナーである。



ざぱり言って、ストリートオブドリームズの住宅はすごい！日本のモデルハウスとストリートオブドリームズの住宅、何が違うのか…？贅沢な景観や敷地の大きさだけではない。答えは、見た人だけにわかるはず。2004年のストリートオブドリームズは、ぜひ多くの一般の方、特にこれから家を建てようと考えている方に見てもらおうべき！というのが今回の結論。サンタ通商では、一般の方向けに2004年のストリートオブドリームズツアー参加者を募集予定。希望者には、ストリートオブドリームズで実際に使用した建材の工場見学やインテリア用品の買い物ツアーも企画中。詳細は <http://www.rainier.jp>

(株)サンタ通商 山田 美佐子
 info@santatsusho.co.jp



Professional View プロフェッショナル・ビュー

日米双方の住宅市場に精通しているプロのご意見を伺っています。今回はパシフィック・センチュリー・インク社長、亀岡洋次氏に住文化の違いについて語っていただきました。

アメリカの住宅に対する考え方

この拙文を書くにあたり最初にお断りしなければならないことは、私がアメリカでは、と言う場合、それは私の体験した西海岸を中心としたとても狭い範囲のアメリカであって、アメリカのどこでも同じ、と言うことではありません。アメリカは北極から亜熱帯までの広い国土と世界中からの移民で成り立っていることは周知であり、また大都市と農業地帯では状況は全く異なるので、ひとくくりにアメリカは、とかアメリカ人は、というのは誤解を招きやすいのですが、ここでは私の体験したアメリカと受け取って下さい。



日本では時々住宅関係の新聞記事などで、「アメリカにはホームプラン集があって、数百ドル払うと住宅建築に必要な図面がすべて入手出来、人々はこれらのプランに従って住宅を建てている。」といった記述を見ることがありますが、私が在住しているシアトル地域では新築の一戸建て住宅は高級でも低価格でもほとんどが建売住宅です。富裕階級は建築家を雇って自分の好みの家を設計させるため、書店やニューススタンドで販売しているホームプラン集に基づいて家を建てる人は、少なくともシアトル地域ではごくわずかであると思われます。言い換えれば、アメリカでは自分で土地を購入してそこに自分の好みの住宅を建てるということはかなり特殊なことです。

アメリカで住宅を購入するのは、確かに住むためではあるものの、もっと重要な目的は個人財産形成のための投資です。アメリカ連邦政府も住宅産業がアメリカ経済を左右する重要産業であることを認識しているとともに、健全な個人財産形成の手段である住宅投資を奨励し、レーガン大統領が税制改革を行うまでは個人が住宅を何棟取得してもローン金利は全て所得から控除することが出来ました。レーガン税制改革後も2棟までは住宅ローン金利は全額所得からの控除が可能です。更にクリントン政権の時に、2年以上所有した住宅のキャピタルゲインは一人25万ドルまでは非課税となり、通常住宅は夫婦の共同所有が多いため、その場合は50万ドルまで非課税で、住宅投資は他の投資に比較して色々な点で優遇されていると言えます。



アメリカでは建国以来現在に至るまで環境変化など何らかの事情により人口の減少が見られるような都市や地域を除いては、短期的には多少の爬行現象があるものの住宅の価格は物価上昇率よりも高率で上昇しており、この傾向は今後も変わらないと信じられています。日本はいまだにバブルの後遺症があるので5-10年の期間では右肩上がりを信じられないのは理解出来ます。しかし日本でもある条件が揃えば住宅価格が右肩上がりとなると思います。

アメリカでは結婚した夫婦は最初アパートに住むのが大多数だと思います。共働きして貯金し、頭金が貯まったら初めての一戸建て住宅を購入します。アパートの家賃と一次取得者（First Time Buyer）向け住宅のローンの金額にあまり差がないためと、ローン金利の所得控除で年間1,000~2,000ドルの税金還付がある上に、ローン支払いは自己資産形成となるからです。シアトルでは現実的な10%の頭金で25万ドルの住宅を30年ローンで購入したと仮定します。10年後に子供達が学齢期に達し、より環境の良い、大きな住宅に転居します。このような住み替えをムーブアップ（Move Up）と呼びます。その際、最初の家は通常の経済情勢では50万ドル前後で売却出来ます。10年間では毎月のローンはほとんど金利しか払っていないため、残っている元金の22.5万ドルを返済し、かつ不動産屋さんの手数料などを払っても20万ドル以上手許に残ります。単純に考えると25万ドルの投資で20万ドルのリターンがあったこととなります。また、ローン金利控除でこの10年間節税してきたこととなります。このような高利回りの投資は他の金融商品ではあまりありません。



最初に家を買う際に注意しなければいけないことは、連棟であるタウンハウスや集合住宅であるコンドミニアム（日本でいうマンション）は特別な事情がない限り価格上昇率が歴史的に一戸建て住宅より低いため、投資の対象としては不利である点です。投資のために家を買うとなると、自分の好みに合わせた個性の強い家は不適當です。誰もが買いたくなるような売りやすい魅力的な家を購入する必要があります。だから夫婦二人しか住まなくてもベッドルームが4つもある家に住んでいる人がたくさんいるのです。移民の国であるアメリカでも、こと住宅に関する限りあまり民族的な特色を出す時困るので、民族色のない住宅が売れるのです。換言すると、アメリカの住宅は現代人なら世界中のどこから来た人でも住みたくなるように設計されているのです。アメリカ住宅はまさに人類の願望を満たす国境を越えた住空間と言えます。



住宅が投資対象となる条件としてアメリカでは連邦政府の優遇税制のほかに、住宅が時代を超えたニーズを満たしていること、中古住宅市場が確立していることなどがあります。後者については、アメリカでは新築住宅の数倍に達する中古住宅の売買があることでも明らかです。新築住宅はどうしてもより都心から離れた新興住宅地に建築されるのに対し、中古住宅のある地域は都心に近く既に確立した住環境があり、子供達の教育などの点でも優れていることが多いなど、中古住宅の利点は多くあります。

時代を超えたニーズを満たす住宅とは一体どのようなものでしょう。売りに出ている家の前に立った時、誰もが美しいと感じるような家でなければなりません。それにはデザインが魅力的で美しくなければなりません。住宅設計で機能、性能、デザインの中でデザインが最も重要と言われるのは正にこの点にあります。シアトルでも1920年代に建築されたクイーンアン様式、フレンチコロニアル様式、チューダー様式、クラフツマン様式などの住宅は時代を超越した美しさに見る者に感動すら与えます。これらの住宅は今でも売りに出ればすぐに購入者があられます。

投資対象として購入した住宅を将来少しでも高く売るためには手入れは欠かせません。週末にホームデポのようなホームセンターが大賑いなのは、ホ

(13ページへつづく)

ソーム

SORM

Strategic Partnerships.
Green Solutions.

毎年再生可能な農業副産物から製造される、
ホルムアルデヒド不使用パーティクルボード

- ・未加工シート
- ・メラミンパネル
- ・ベニヤパネル
- ・寸法に合わせて裁断する構成材
- ・無溶剤UV塗料
- ・キャビネットおよび家具部材
- ・プライベートブランド製品

Sorm, Incorporated
7975 180 R Avenue Southeast • Wahpeton, ND 58075 • USA
電話: (701) 642-3286 • ファックス: (701) 642-3287
www.sorm.com • sales@sorm.com

販売・流通業者の皆様からの英語でのお問い合わせをお待ち申し上げます。

(1ページよりつづく)

てSODを見学された方は「ツアーに参加した事によって木造住宅の可能性を改めて認識した」また、「内装、外装共に魅せるという部分の建材の使い方、バランスが非常に良かった」と言う感想を頂きました。

■シアトルの高層住宅 ザ・19th Ave. ロフト vs ザ・ベローラ
19th Ave.ロフトもベローラもシアトルのダウントウンに建つ高層住宅で、都会生活を満喫することができますが、対照的な2つの物件を視察しました。

The 19th Ave. Lofts

シアトルのキャピトル・ヒルに位置する19th Ave. Loftsは、ワンルーム、1ベッドルームタイプ、ロフト付2ベッドルームタイプのコンドミニアムで、47世帯からなるプロジェクトです。専有面積60~80㎡で、ロフト付ワンルームタイプは24万円から、そしてセミプライベート屋上デッキ付きのメゾネットタイプなら40万円程で販売されています。

このプロジェクトは最近、米国建築士会の名誉会員に任命された、パル・トーマス氏によって、デザイン・建築・開発されました。彼はシアトルのバイク・ストリートとベルタウン地域の都市型高層住宅を含む再開発プロジェクトを通じてダウントウンのシアトル景観に大きく貢献しています。

19th Ave. Loftsの内装はシアトルのウォーターフロントにある倉庫を思わせるような極めて限られた装飾のマンハッタンスタイルの工業建築デザインで、シアトルにはユニークな建築物です。3階建てのこの建物の壁面は赤いレンガとコンクリートで造られ、大きな全面ガラスが窓として取り付けられています。日本からの参加者は1階の通りに面した部屋の窓さえも床から天井までガラスであるのを見て、この建物が住宅用としてみなされている事に少し驚かされていました。特徴的だったのはコンクリートが建物全体に一般的に使用されています。各世帯の室内床、まだ建設途中の玄関と壁もすべてコンクリート仕上げです。玄関の壁部分には「工業的」なイメージを出すためにメタルのアクセントが取り付けられます。

内装はデザイン的には工業的で抑えた装飾ではありますが、むき出しの木材が実用的な役割を果たしています。各世帯の天井板やむき出しの梁が4~6mの高さにあります。更に、ワンルームやワンベッドルームタイプのリビングルームの上には2x6デッキ材で出来たロフトの耐久性と強度がでています。その他の設備としてはガス暖炉や、冷蔵庫、ディッシュウォッシャーなどの電化製品が備え付けられています。ほとんどの世帯から直接庭やデッキに行くことができますが、その他の世帯は建物裏に共有のパティオがあります。3階の入居者は近所3軒と共有するパティオを利用することができます。



工業的なイメージをだすためにスチールとセメントの組み合わせ

まだ着工中にもかかわらず、この建物は非常に人気があり正式な販売前なのに8割は既に売約済み。セールスマネージャー、タビサ・ローソン氏は「購入する層は専門的職業についている25~40歳の独身者が、新婚夫婦、もしくは別宅として使用する人達です。彼らの仕事はコンピュータ関係、インテリアデザイナー、建築家などと自分の創造性を住まいにも生かしたいという方々が多く、まだお年寄りや子供のいる家族のお申込はありません」と言います。

日本ではまず見られないプロジェクト19th Ave. Loftsでしたが、このツアーに参加された方々には斬新なアイデアを掴んで頂けた事と思います。

The Bellora

Belloraはシアトルの海岸線エリオット湾から数分の地域に位置します。シンプルで工業的なデザインの19th Ave. Loftsとは違いインテリアデザインやフロアプランに色々なオプションがある、89世帯からなる高級コンドミニアムです。この12階建ての集合住宅は45㎡のワンルームタイプから186㎡の2ベッドルーム+書斎+2.5バスのペンthouseタイプがあり、価格は5千万円弱~1億4千万円程。

特注の金物が組み入れられたメイプルやチェリー材のカスタムメイドのキ

ャビネット、有名ブランドのステンレス電化製品、高級衛生設備、コルクかハードウッドの床材、コンクリートか大理石のカウンター等、全てパッケージに含まれています。ペンthouseを購入した場合は、オプションとして障子か透明のキャビネットガラス、竹のフローリング、無垢のメイプル室内ドアや高級電気設備がついています。

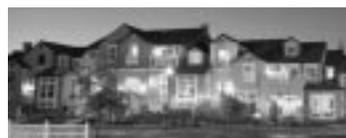


生活空間に広がる洗練されたハードウッドの床

ベローラは19th Ave. Loftsを含むシアトルのウォーターフロントに位置するそのほかの高級コンドミニアムと異なり、共有部分や各世帯のインテリアに東洋の影響を取り入れています。建物の入口玄関を入ったロビーは日本のホテルのようなデザインです。玄関ホールの公共部分と入居者の郵便受けなどのややプライベートを分けていたのは黒ラッカー塗りの間仕切りやそのほかにもアジア風の装飾品がたくさんありました。上層階へのエレベーターの前の壁には竹の掛け軸がかかっているなど、また色彩も東洋風です。共有部分の色彩も汎アジアの影響を受け、各世帯のインテリアには自然素材(スレート、竹、コルク、大理石、広葉樹材)が選択されました。リビングルームと寝室の間は壁ではなく障子の間仕切り。言うまでもなくこの間仕切りだとりビングの空間を広くすることができます。

Merello Townhomes, Orenco Station

もうひとつの視察先としてオレゴン州ヒルスポローのオレンコ駅のモレロ・タウンホームズがありました。ポートランドへの通勤交通MAXがはいつてくるオレンコ駅隣接の「新しい都会生活」を提案する開発プロジェクトの最終期として米国内でも賞を獲得しています。



オレンコ駅のモレロホームズのモデルホーム・ヴァレージ

専有面積は127~148㎡。エクステリアはレンガ造りデザインで、ハードウッドの床、室内はタイル、ダウンライト、ガス暖炉やハイテクのデジタル配線が設備されています。価格は約270万円からで、参加者は色々なフロアプランやオプションをモデルホームで見ることができました。

2004年エバーグリーン冬季視察ツアー

今回参加者の方々には戸建住宅だけでなく、色々なコンセプトをもった集合住宅が見ることが有意義だったと、ご感想を頂きました。次回の2004年の冬季視察ツアーはワシントン州にて1月18日(月)と19日(火)に「高齢者のライフスタイル」と「リモデル」の2つのテーマをNAHBショーの時期に合わせて開催予定です。是非ご参加ください。



Hurd Millwork
575 South Whelen
Medford, WI 54451

今や、施主の満足が優先される時代です。ハードには長年にわたる高品質と常に新しい技術を追求してきた伝統があります。さらに、弊社では目の肥えた住宅オーナーのために豊富なオプションと、独自の商品群をご用意しています。ガラスのコーティング加工オプションも幅広く提供しており、

今日最も関心の高い太陽エネルギーに関するニーズにもいち早く対応しました。詳しくはWebサイトwww.hurd.com をご覧頂くか、(03)3973-7579 までお電話下さい。ハードを選ぶ理由がきっとお分かりいただけるはずです

Let's build together.™ 

プレハブ住宅(工業化住宅)への挑戦

アンダーソン&アンダーソン・アーキテクト 著/ハナ・ブラウン

建築家ピーター・アンダーソンは「これからの建設システムは現場外の工業化住宅である」と断言し、さらに「これが最適なのは多国から導入されたデザイン、建材や組立が混ざった海外のプロジェクトです。従来の現場での2×4工法やプレハブ住宅はコンクリート構造と比較して建築期間が短く、在来工法よりも耐震力がある一方、工業化住宅はより効率を上げ、多大な柔軟性を提供することができます。また、工業化住宅は現地での施工技術に制限があっても、ビルダーは複雑なデザインも建築することが可能です。」と語ります。

ピーターとマーク・アンダーソン兄弟はあえて困難な条件の現場での2×4工法の設計・建設を手がけてきました。25年前に大工からはじまった二人のキャリアは建築業者、ディベロッパーそして建築家として、世界各地で100以上のプロジェクトをこなし、特に現場へのアクセスが難しい場所や珍しい条件のプロジェクトを専門としてきました。ここ10年ほど、国内・海外のプロジェクトを問わず、工業化住宅の開発・建設にさらに携わるようになりました。

「会社設立当初は馴染み深い大工仲間、サプライヤーや建材で自宅近くの現場施工を中心に高級注文住宅の設計・施工をしていました。全工程をいつも管理監督することで品質とコスト管理を徹底してきました。」しかし「米国各地のみならず、海外のプロジェクトへも進出するようになると、全く異なるプロジェクト管理方法を見出す必要があり、そこで広範囲の仕事を持続管理するためにはより多く現場外の工業化住宅に依存することになった」とアンダーソンは語ります。

1993年に日本の住宅の品質向上及び原価引下げを目的とした日本政府が主催する北九州市での16棟の木造住宅の建設展示と調査プロジェクトに選定されました。6ヶ月の間、アンダーソンの建築専門家チームと米国の建築システムを取り入れたい日本の建設業者6社が現場で、両国間の「住」に対する文化の違いを教えあい、情報を収集しました。このプロジェクトの研究結果は日本政府による報告書が公表され、またシリーズとしてNHKで放送されるほど好評でした。

「この案件により効率のよい建築方法の必要性を痛感しました。米国式の現場での建築を海外へ技術移転する場合、我々の現場内建築方法が必ずしも海外では最も効率的な方法でないことを教えてくれました。プロジェクトそのものは従来の日本での住宅建築よりは価格を下げる事ができ、成功だったものの、現場での建築技術を改善するのに焦点を当てるのではなく、現場での仕事量をできるだけ減らすことが大事だと気が付きました。」日本でのプロジェクトが増えるにつれ、アンダーソン社は自分たちのデザインした住宅をもっと安価で提供できるように新しい建築技術を用いて試みを重ねました。日々の進行状況を見ることができるよう、この試みの多くは自宅に近い現場で行われました。

パネルを用いたはじめての工業化住宅は事務所に近いピュージェット湾に浮かぶフォックス・アイランドの丘の中腹に位置する難しい現場でした。そこで、現場での建設では極めて難しく、従来の方法では予算内に納めることは不可能であると思われた住宅をあえてデザインしました。アンダーソン社と大工チームは材木置場横の倉庫を借りて、倉庫床の原寸図面の上にパネル住宅を建てました。パネルはトラックかコンテナに入る大きさで、高い天井スペースと特徴のあるカーブした屋根が確保できるように垂直に走らせました。パネルを積んだトラックと軽量クレーン車が現場に到着してからは、大工チームがクレーン車が運ぶ番号付けのパネルをボルト止めし、わずか6時間で基礎への組み立てが終わりしました。完成した住宅は様々な賞を受賞し、米国、ドイツ、オーストラリア、日本や韓国の本や雑誌で取り上げられるほどです。



現場外で作られたパネルがクレーン車で運び込まれてから6時間以内でボルト留めされました

それからまもなく、日本の建設会社が米国の建材を使用したモデル住宅の建設を依頼してきたときは、迷わず工業化された建築構成材をデザインの目玉としました。できるだけ幅広い製品選択を見ていただくために2つのパネル壁を用いたデザインが考えられました。1つはオレゴンから日本に輸出したもの、そしてもうひとつは、アンダーソン社がワシントン州の組立加工業者に委託したものでした。日本におけるそのほかの工業化住宅プロジェクトではさまざまなパネル製造業者の能力と手腕を活用すべく、デザインされています。例えば、昨年完成した住宅ではワシントン州の木材を輸入し、現場外で工業化され、日本の工業化住宅メーカーによって施工されました。

工業化技術で最も一般的に普及しているのは2×6と2×4工法であるが、これだけが選択肢でなく、条件によっては適切でないときもあります。アンダーソン社は最近手がけた2つのプロジェクトにはOSBの間にEPS(発泡ポリスチレン)を挟んだ構造用断熱パネル(SIPS)を使用しています。1つのプロジェクトはミシガン湖沿いの9段階の高層住宅、もうひとつはワシントン州内にある絶壁から約10メートル一端が飛び出す、ドラマチックな山の家。「両方のプロジェクトに共通するユニークな条件や場所に対応するために鉄骨構造、エンジニアードウッドと構造断熱パネルを使ったハイブリッド工法で建てられました。低価格な構成材や組立方法でありながら、多様な状況に対応するためには最も効率的な工業化技術を適用する場合にハイブリッド工法はたいへん有効です。」

このほかにも日本や中国の伝統的な木造軸組工法を近代化した技術で現場外での建設方法を米国やアジアの国々で行っています。ワシントン州にあるコンピューターで管理された重量木の構成材の二次加工を専門とする業者と一緒にアンダーソン社は大量の特注生産の機会を利用して、効率的に生産及び施工できる現代的なティンバーフレーム工法を考案し、むき出しの重量木の美しさやデザインの特徴を維持しています。現場での組み立て時間を最小限に抑えたかったため、このハイテクを駆使したティンバー・フレームが理想的な解決策となりました。

現場以外での工業化はコスト品質管理を高める以外にも多くの利点があります。「現場での建設は資材の無駄が生じ、たくさんの廃材を移動・処理しなければなりません。これは現場での紛失、盗難、破損や間違いを考慮して、5-10%余分に発注をする必要がある海外や遠隔地でのプロジェクトなどで多く見受けられます。」

工場での切断・組立てが可能なのに、余分で断裁された資材を再利用にまわさなければなりません。また、エネルギー消費が少ない上、現場の発電機やコンプレッサーなどの機械による騒音や大気汚染を削減することができます。工業化住宅は経済面、環境面において効率がよいといえます。そのほかの特色としては工程が大幅に短縮でき、新しく建築する場合はデザインの選択に柔軟性があります。」



特別なデザイン条件や現場が丘の斜面だったことから、工業化住宅にすることで、プロジェクト全体及びコスト面でも効率が高かった

お客様の中には工業化住宅は型にはまってしまう、デザインに制限があると懸念する方がいらっしゃいますが、アンダーソン社はその逆であると主張しています。「コンピューターを使ったデザイン、さらに資材処理や二次加工がコンピューター化されたことの短期生産は工場内の費用効率を高めています。近代的な工場であれば、同じパーツを大量に生産することなく、珍しいパーツでも少量でも特注することができます。」多くの場合、最初の構造体系は壁・窓・ドアの配置とは独立しており、プロジェクト毎の要請や現場の条件の順応が大事になるので、アンダーソン社の工業化デザインに対する取り組みにおいてデザインの柔軟性は彼らの大きな特徴となっています。

(10ページよりつづく)

ームオーナー達が少しでも自分の家を美しくしようと努力しているからにはほかなりません。ホームセンターではフローリングはり、屋根の張替え、キッチンや浴室の改造など住宅に関するあらゆる工事にしろうと向けビデオを販売しており、それらのセミナーも頻繁に開催されています。週末に住宅地を車で走ると、芝刈りやペンキ塗りや家の手入れに精を出している人々を多く見かけます。日本からの駐在員が借りた住宅の芝生の手入れをしないと近所から文句を言われることがありますが、これは自分の家だけでなくその周辺も美しくないと住宅の価値が低下する恐れがあるからです。日本では最近でこそガーデニングは盛んになってきたようですが、自分の家の手入れをほとんどしないのとは対照的です。



しろうとではどうしても出来ないような住宅の手入れや改造のために、アメリカではリモデリング(日本では和製英語のリフォームと呼ばれています。)が盛んです。リモデルも単なる補修ではなく、住宅の価値が向上するようなキッチンや浴室の改造、デッキの拡充、インテリアの更新などが中心です。アメリカ住宅産業ではこのリモデリング産業が無視出来ない規模に成長していますが、日本でも住宅の寿命が延びるにつれリモデリングは一層盛

んになると思われます。

投資対象としての住宅でもうひとつ重要なことは耐久性です。30年経って住むに耐えないような住宅では売ることは不可能です。アメリカの住宅はある統計資料によれば平均寿命は103年であり、築後40年、50年経った住宅でも手入れさえ良ければ十分取引の対象となります。100年を超える耐久性のある住宅には、その地方に適した十分な強度を持った設計と手抜きのない建築工事が必須です。貴重な資源を消費して建築された住宅を100年に渡って自分の次の世代にまで大切に引き継いでいくことは、地球環境保護の観点からも大切なことと思います。



亀岡 洋次(かめおか ようじ)

1942年東京生まれ

早稲田大学理工学部卒、カリフォルニア大学大学院修士課程修了、ワシントン州ならびにアラスカ州技術士、千代田化工建設で設計、建設、開発の実務経験後、1978年より同社アメリカ法人にて営業、法務、契約交渉、企画、経営などに加え不動産開発に従事。1989年同社を退社、不動産開発を経験の後1993年パシフィック・センチュリー・インクを設立し、日本向け住宅建材輸出を行い今日に至る。コルビーアンドコルビー社(高級木製窓)ならびにスウィメックス流水プール日本向け代理店。

米国の健康住宅建設の取り組み

6月4日、東京のすまい・るホールにおいて、全米林産物製紙協会(AF&PA)主催の「改正基準法シックハウス対策とアメリカの健康住宅づくり」と題した特別プログラムが開催されました。第1部においては、国土交通省をはじめ各関係機関から改正建築基準法についての説明があったあと、第2部には米国より下記専門家を招き、米国の健康住宅建築に関する取り組みが紹介されました。今回は第2部の講演から米国ではどのような対策に取り組まれているかをレポート致します。

<NAHB研究所>

NAHB研究所は、全米ホームビルダー協会(NAHB:会員数20万・州及び地方連団体数800を誇る全米最大のビルダー協会)の非営利団体下部組織で、ワシントンD.C.郊外のメリーランド州アップー・マルポロにあります。1964年に設立されたこの研究所では、現在約90名の専任職員がおり、米国の住宅の品質、入手可能な価格、耐久性の改善を目的に活動しています。研究所内にあるリサーチ・パーク内やその他地域において、21世紀型のタウンハウスやゼロ・エネルギーハウス、再生可能エネルギー住宅などのテストハウスを建設し、窓などの建材を含めた住宅の改善や開発を研究しています。

現在、米国で建築される住宅の75%は木造現場施工で、あとの25%は工業化住宅と呼ばれる住宅で占められています。工業化住宅は、固定シャシーで移動可能な住宅と1階分の箱型パネルをクレーンで積み上げて施工するモジュラーハウスがあり、前者の移動式住宅はシングルファミリーにとっては一番価格の安い住宅で、後者のモジュラーハウスは米国北東部で最も需要がありますが、年間3~4万ユニットと低く価格も前者より値が張るものの、施工が大変早いというメリットがあります。

またNAHBでは、年一回各4万のビルダーや消費者を対象に建築業実態調査を行い、市場で実際に採用されている建築資材は何かなどを調べています。その結果、ここ数年の調査で建築資材の使われ方が違ってきているのが分かります。一番顕著な変化を見せたのがOSBで、合板や発泡系面材に代わる素材として新築住宅市場でマーケットシェアを拡大させ、1995年に比べ2001年ではその使用率は25%以上も増加しています。それに伴って価格も下がり、品質も改善されてきました。次にエンジニアードウッドの普及も目覚ましく、木製I-ジョイストの普及は10年足らずで倍増しました。また、木材やプラスチックの複合材は、デッキ材などに使用されわずか5年足らずで10倍にまで拡大しており、業界や消費者意識が変化しつつあることを証明しています。

また室内空調機器に関しては、特に新鮮空気交換機の使用は、1996年には同調査の項目にすら現われていなかった(=需要がなかった)のにも関わらず、2003年には10%の伸びを見せています。年間120万戸の新築着工数の10%と考えれば、その数は大変多いと言えます。

<米国の建築基準概要>

米国の建築基準は、他の多くの国々と同じく公共の健康、安全及び福祉を守る事を目的としており、構造的な性能・避難方法・用途及び占有区分・進入口・内装仕上げ・室内環境等の建築上の基準を含んでいます。基本的に、ビルなどの商業建築物には性能規定(Performance Code)が適用されますが、住宅には仕様規定(Descriptive Code)が適用されています。基準の解釈及び施行は地区の検査員が責任を有し、新製品やシステムなどは性能評価により基準が適合しているかを判断します。米国では従来3つの基準が存在していましたが、1996年にInternational Code Council (ICC) が結成されひとつのICC基準へ統合されました。現在では、ICC基準がほとんどの州で採用されています。広い国土の中にあらゆる気候を有する米国でひとつの基準が採用されている事は注目に値します。

そうとはいえ、そのICC基準の中には商業施設を対象としたInternational Building Codeや住宅を対象としたInternational Residential Code (IRC) など13の小項目があり、各州ではそれぞれの気候などの建築条件に従ってその小項目を施行しています。室内空気に関連する基準は、IRCの中で規定されています。また室内空気に大きく影響を及ぼす省エネルギーに関する基準は、International Energy Conservation Codeで規定されていますが、米国内でも多くの異なる基準があります(<http://www.bcenergy.org>)

<健康住宅と基準>

室内空気と換気・省エネ・燃焼設備やラドンガスの関連など多くの健康住宅に関する基準が定められています。現在においては、建材と住宅の健康の関連性は化学的に証明されていませんが、例えば省エネ基準が気密性を高め空気質の問題を引起こす、又は人に健康な湿度が結露を引起こし冬季にカビが発生する、更にセルロースやファイバーグラスなどの建材によって健康に害を及ぼすなどといった意見があるのも事実です。現在米国で



右)クリストファー・J・フェネル氏

深刻なのは、室内空気質問題のひとつに、カビがあります。米国では、IAQ基準(Indoor Air Quality Standard)の622条で室内空気質の基準を設けています。またビルダーや消費者が健康住宅の概念を理解し、様々な自主プログラムへ参加する動きが見られます。

<健康住宅施工者側の対策 - カビ>

建築設計士の対策：設計士にとって、健康住宅を建築する時に一番大切なことは、気密性を確保するばかりではなく、それと同時に換気を中心に住宅の湿気の管理ができる設計をすることです。軒の出及び樋・水切りの詳細・地盤や基礎の排水・換気設備とフィルター・暖炉の燃焼安全性や排気経路の確保・オール電化など多くの対策が考えられます。

ビルダーの対策：ビルダーにとって健康住宅を建築する時に一番大切なことは、湿気を阻止する事です。どれだけICC基準に沿って建築をしたとしても、気候等の建築条件を把握し、必要であればその基準以上の性能を確保しなければなりません。どれくらいの空気がどんな経路で室内に侵入してくるのかを考えずして健康住宅は建てることは出来ません。

またその他に、建築材料は水分を避けて適切に保管する、独自の機密性能テスト(\$300-\$400)を行い湿気の流入が認められたら再度気密化を図る施工をする、使用する建材を選ぶ、品質保証をするなどの措置を採ることが求められています。特にダクトシーリングについては、米国にはダクトに関する基準がないため、室内空気環境を改善する上でビルダーに課された最も大切な仕事のひとつです。通常ダクトは天井か床下へ設置されることが多く、設置時に十分なシーリングをしないケースが多々あります。これでは夏季には

冷気が、冬季には暖気がシーリングを伝って逃げて行き、湿度や結露が原因でカビが発生する他、エネルギーのムダです。解決策としては、設置後であればダクトバスターと呼ばれる装置で気密性能試験をしてシーリングしますが、設置前であればそもそも天井や床下などではなく管理できる室内に設置することがベストです。

<自主プログラム>

米国では、市民団体レベルから大学・協会・地方自治体・州政府や環境省や国に至るまで様々なグループがアメリカの健康住宅実践計画プログラムを運営し、室内環境問題などに関する消費者や建築業者への啓蒙キャンペーン・デモンストレーション・施工業者訓練やホットライン開設などの活動を行っています(<http://www.healthhouse.org>)。肺疾患協会では、空調設備メーカーや建材メーカーなどの出資を受け、建築業者への訓練プログラムを提供したり、また米国農務省と住宅都市開発局では、ウィスコンシン大学の協力を得て健康住宅パートナーシップ共同事業を立ち上げています。NAHB研究所では、地盤や防水層、自然災害や害虫など多項目に亘る実務的なガイダンスを提供しています。その他グリーンビルディング・プログラム(<http://www.toolbase.org>)や州・地方自治体のプログラムなどが盛んに行われています。

<健康住宅の住まい方>

いくら行政が建築基準を改め、自主プログラムを奨め、またビルダーが健康住宅設計をして健康住宅設備や建材を施工したところで、ハウスオーナーがそのコンセプトを理解していなければ意味がありません。引渡しまではビルダーが責任を負いますが、一旦引き渡された後、その住宅でどのように住み、メンテナンスをするかはホームオーナーの責任です。この為のオーナーへの教育は欠かせません。ハウスオーナーは、洗剤や殺虫剤、またはタバコといった室内空気を汚染する発生源を管理する責任があります。健康住宅はハウスオーナーの住まい方が一番重要なのです。

<住宅はシステムである>

上記で述べてきた健康住宅に関わる要素をまとめると、

- ・ 法令・規制(建築基準・規準)
- ・ マーケット情報(自主プログラム)
- ・ ビルダー(適切な設計・施工)
- ・ ホームオーナー(住まい方・メンテナンス)

が4大要素に挙げられます。健康住宅を建築する際あるいは室内空気環境を改善する際には、これら4大要素すべてが同時に揃う必要があります。それぞれの要素すべてに相互関係があり、住宅はこれらすべての要素が複雑に絡み合ったシステムなのです。

住宅建材セミナー

九州・沖縄地方の方に必見!

アメリカの住宅建築事情

10月6日(月)~10月10日(金)

宮崎・大分・久留米・福岡・那覇

1994年から年に2回開催している「ワシントン州住宅建材セミナー」では、日本の皆様に米国の住宅に関する最新情報をお届けしています。今回は「資産価値の高い住宅とは」、「地球にやさしい建材」、「ドライウォール仕上げと営業できるブランド」、「最新キッチントレンドと商品の見分け方」と、4つの分野の基調講演があります。講演以外にも屋根材、人造石、造作材、木製窓、水栓金具製品などの説明やコンクリートシステムの実演も行います。さらに、ミニ展示会を設け、各企業担当者とお話をしながら、サンプルなどをご覧になっていただけます。

参加企業・団体：APAエンジニアードウッド協会、アームストロング・ホームズ、オーウェンス・コーニング・ジャパン(株)、オーウェンス・コーニング社/山宗製陶(株)、キャストード・コンポーネンツ、サウダー・モールドイングズ、デウィルズ・インダス



トミナガ・コーポレーションによる実演



ミニ展示会の様子

トリーズ(株)、プレミア・ビルディング・システムズ、ホームテック・デザイン&サプライ、立共インターナショナル(株)、(株)ヤスタ・プロモーション、(有)トミナガ・コーポレーション

次回は5月17日~21日を予定しています。

エバグリーン 建築資材貿易振興会(EBPA) 代表が退任

エバグリーン 建築資材貿易振興会 日本事務局

退任の御挨拶

エバグリーンの代表として就任させていただきまして2001年9月1日でしたので、ちょうど2年間にわたり、いたらぬ私ではございましたが、皆様の多大な御支援とご協力を頂戴いたしまして、無事大過なく勤めさせて



伴 直子

いただくことができました。皆様にはこの場をお借りし心より、深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。エバグリーンを通して多くの方々と交流の場をもち得たことは、人生の貴重な体験と財産として、今後に生かしていければと思っております。

今後ともこの建築業界に留まり、北米輸入部材の貿易促進に尽力を注ぎたいと思っておりますので、また別の機会皆様とお会いできますことを心よりお祈りしています。

皆様の今後共の御健康と御活躍をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

Classifieds

告知欄 <クラシファイド>

クラシファイドは読者の皆様同士の交流をはかるページとしてはじまりました。人材・代理店募集、モデルハウスのオープン、イベントやセミナーの開催、ホームページの開設、取扱商品以外の建材や工具を売ります・譲ります等々・情報提供をお待ちしております。

次号(5月発行予定)のクラシファイドに掲載をご希望される方はワシントン州政府日本事務局までお申し込み下さい。



ワシントン州政府が発行する書籍一覧

ワシントン州政府では米国の工法や建材のご理解をいっそう深めていただき、皆様の事業に役立てていただくために下記の出版物をご用意しています。ご希望の方は下の資料請求申込書をご記入ください。

「在来工法のための輸入窓・ドア発注から、取付け・仕上げまで」



今まではツーバイフォー住宅に取付ける輸入窓・ドアという前提でしたが、そのデザイン、性能、価格面等から日本の消費者の人気を集める中で、在来工法でも輸入建材が比較的容易にご使用いただけることをセミナーで実践し、イ

ラストや写真でわかりやすく説明。

「枠組作業と建設初期段階の大工仕事」



フレーマー（枠組を専門に行う大工）のための基本的なテキストを探していた著者スコット・シンブソンが25年以上にわたる自らの

経験を元に専門用語の意味からフレーマーの管理方法にいたるまでわかりやすく説明。

「輸入窓の取付け方：地域対応の耐水防湿対策」



日本の気候に適した窓の種類や保管方法及び輸入窓の正しい取付け方が詳細に記載された資料。全米窓・ドア生産者協会（WDMA）による検査基準に関するスライドも含む。

2003年版「ワシントン州住宅建材企業案内」無料頒布
2004年版を来春発行



ワシントン州は米国でも最大の住宅産業の規模を誇っており、日本への建材輸出量のうち、当州の占める割合は50%以上を達している。州内には米国を代表するメーカーやサプライヤーがサービスを展開しており、北米の最高レベルの建材や技術が集積。本誌には特に日本市場に積極的な企業の業種、取扱商品などの業務内容、事業規模、米国や日本での連絡先などの詳細を掲載。日本人スタッフはもちろんのこと、日本に翻訳された資料やカタログの充実化に力を入れており、細やかな対応をしている企業ばかり。州政府のホームページでもご覧になれます。

ワシントン州
政府日本事務所

活動スケジュール

<2003年10月6日～10日>
ワシントン州住宅建材セミナー
宮崎・大分・久留米・福岡・那覇
米国企業が来日し、住宅市場の動向やエコ商品・設備など幅広い製品・サービスを紹介。ミニ展示会、実演、個別商談会、設計相談も実施。

<2003年11月11日～14日>
ジャパン・ホーム・ショー2004 / 東京ビッグサイト（USパビリオン内）

ワシントン州 / EBPAパビリオンに出展する企業小間 22042：ウェザーシールド、オーウェンス・コーニング、キャスケード・コンポーネンツ、サウスウェスト・ドア・カンパニー、ハード、パクリム・ビルディング・サプライ、フィッツ・インダストリーズ、プレミア・ビルディング・システムズ、(株)ヤスタ・プロモーション

<2003年11月15日>

「輸入住宅・建材商談会」 / 東京池袋、輸入住宅産業協議会主催

<2003年11月20日～22日>
ホームビルダーズエキスポ OSAKA2003 / インテックス大阪
USパビリオン内に立共インターナショナル株式会社と株式会社ヤスタ・プロモーションが出展

<2003年11月26日～27日>
第6回清水FAZ輸入商談会（住宅・建築部材展） / 清水マリンターミナル

<2004年1月15日～16日>
EBPA冬季住宅視察ツアー

ラスベガスで開催されるNAHB（1月19日～22日）の前にシアトル近郊で高齢者住宅とリモデルの視察。

<2004年3月2日～5日>
建築・建材展2004 / 東京ビッグサイト

「ワシントン州住宅建材企業案内」2004年版発行

2004年春季 「ワシントン州住宅建材セミナー」 5月17日～21日

「ワシントン州住宅産業情報」第16号発行

資料請求 FAX 申込書 米国ワシントン州政府日本事務所 FAX 03 - 3459 - 0897 e-mail: jwnko@gol.com

「ワシントン州住宅産業情報」の定期購読や下記資料の入手や掲載を希望される方は、必要事項をご記入の上、ワシントン州政府日本事務所までファックス、Eメールにてお申し込み下さい。

1. 「ワシントン州住宅産業情報」定期購読希望（無料 年に2回発行）
2. 「在来工法のための輸入窓・ドア 発注から、取付け・仕上げまで」（2000円・送料別）
3. 「枠組作業と建設初期段階の大工仕事」（2000円・送料別）
4. 「輸入窓の取付け方：地域対応の耐水防湿対策」（2000円・送料別）
5. 「ワシントン州住宅建材企業案内」（無料） 2003年版 2004年版
6. 作品紹介 掲載希望（プロジェクトを募集中）
7. クラシファイド掲載希望（P.14参照）
8. その他ご意見・ご要望

フリガナ		
会社名	担当者	
フリガナ		
〒		
住所		
T E L	E-mail	
F A X		
業 種	1. 建設施工会社 4. 建築設計事務所 6. その他 ()	2. 建材卸会社 5. 販売代理店
	3. 商社・貿易会社	

下記ページの広告にご関心のある方は印をつけて下さい。

- P3.ウエスタンパシフィック P4.プレミアビルディング・システムズ
P6.フィッツ P8.シンブソン P10.ソーム
P11.ハード P16.アームストロングホームズ



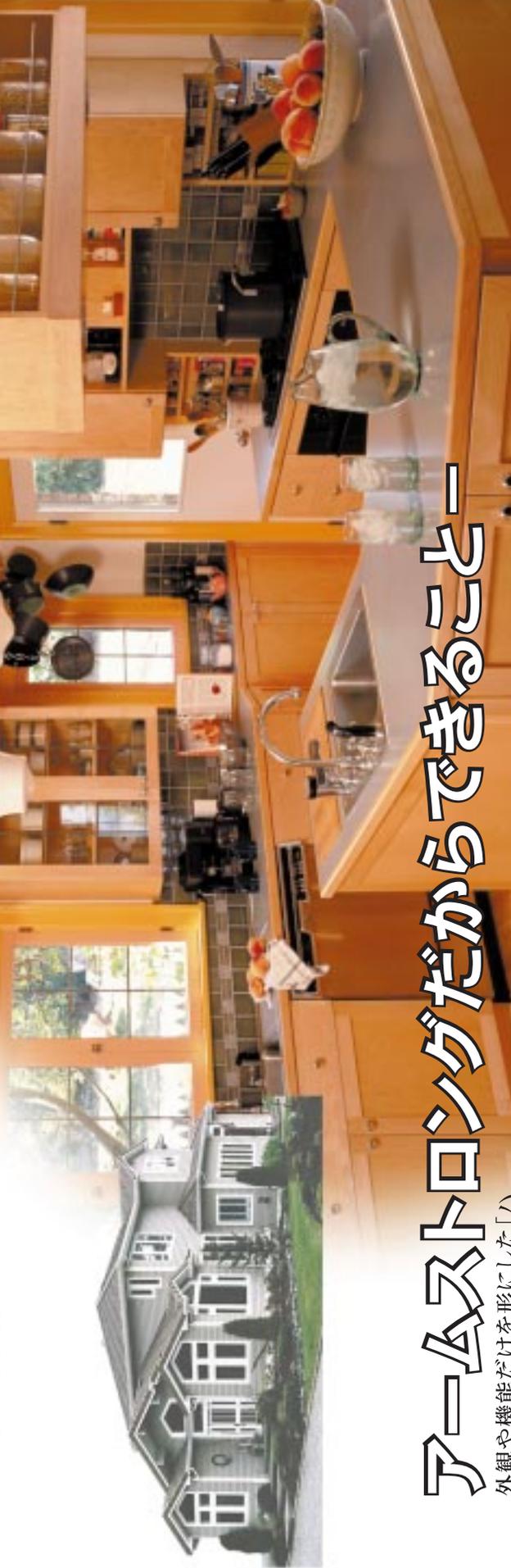
暮らしに優しい健康住宅 トータルヘルシーコンセプト



Design アメリカのライフスタイルをそのまま表現
Drywall 健康的な住空間をお届けします
HVAC 健康住宅だからこそ欠かせない全館換気空調システム



Made In the U.S.A.



アームストロングだからできることー

外観や機能だけを形にした「ハウス」を建てることだけにとどまりません。

映画のワンシーンで見ても、憧れていたアメリカのインテリア。

アームストロングだったら遊び心の詰まったアメリカの家具や小物をいっぱい取り入れた「ホーム」づくりが可能です。

シアトルでああなたのお気に入りのアイテムを揃えてみませんか？

あなたの夢を叶えたいー

居るだけで料理が楽しくなるようなキッチン、友達が集まって楽しめるリビングルーム、夏の夜に星を眺めるロフト部屋。思いつきわがままに、お気に入りの風景を色鮮やかに思い浮かべて下さい。アームストロングがあなたの夢をお手伝いします。

アームストロング加盟店だと・・・

- ◆ この欄に自社情報を入れてチラシ配布
- ◆ 「お施主様が直輸入」で粗利30%
- ◆ ドライウォール仕上げで健康住宅
- ◆ 家具や照明などインテリアまでも取扱可能
- ◆ FCのような入金やロイヤリティーが無い
- ◆ シアトルの本社で技術セミナー
- ◆ 「売り方セミナー」で営業マン大助かり
- ◆ カタログからVCDまで販促ツール品揃い
- ◆ 協同広告で金銭負担を大幅削減
- ◆ 全国に仲間34社（2003年8月現在）
- ◆ 仲間コンテナ混載便で小ロット輸入も
- ◆ アメリカの建築家がプラン作成
- ◆ 通関や運搬などもアームストロングにお任せ*
- ◆ 棟上げもアームストロングにお任せ*
- ◆ モデルオープンに米国政府からバックアップ
- ◆ ETC、ETC、ETC、その他盛り沢山・・・

*PROTOシリーズの場合

お問い合わせは下記まで

www.armssystem.net

または米国内

TEL:1-253-833-6666 日本語は内線317

FAX:1-253-833-5878

までお気軽にお問い合わせ下さい。

